Canon
キヤノンメディカルシステムズ株式会社

公益社団法人　宮城県放射線技師会
第33回総合学術大会
ランチョンセミナー

CT最新情報提供　　キヤノンメディカルシステムズ株式会社

教育講演２

演者　一ノ瀬 嘉明先生
国立病院機構災害医療センター　放射線科

「初心者歓迎！救急画像のポイント、まずはここから」

日時　2025年 12月13日 |土| 12:30–13:30

会場　仙台サンプラザ　宮城野

座長　坂本 博 先生
東北大学病院

救急診療現場でSTAT画像報告に対する期待が高まっています。STAT画像報告に対して、得意だ、わくわくする、どんどん取り組みたいという人ばかりではなく、今後担っていく役割に対する不安や恐怖感、苦手意識を抱いている人もいらっしゃるのではないかと思います。放射線科医がいない時間帯において、病院内で最も医用画像に関するスペシャリストといえば診療放射線技師の皆さんです。もちろんこれまで担われてきた撮影業務もそうですが、STAT画像報告によってより一層、現場で困っている主治医を助け、ひいてはそれが患者の命を救うことにつながります。自分たちは患者の命を救う素晴らしい仕事をしているという勇気と誇りをもってSTAT画像報告に取り組んでいただければと思います。

実際に画像に向き合ったときに大事になるのは、自分の目で所見に気づくこと、見つけること、その拾い上げていくプロセスだと考えています。落としやすい所見を拾い上げるにはコツがあります。限られた時間内ではありますが、本講演ではそうしたコツの中でまずおさえておきたいポイントをいくつかご紹介したいと思います。所見を拾い上げていくプロセスを、みなさんが実践しやすい形で、そしてわかりやすく言語化してお伝えしていくこと、また苦手意識や怖さを抱いている方にも楽しそうだな、やってみようかなと思ってもらえるようにinvolveしていくこと、そこに力を注ぎたいと思っています。苦手な方、初心者こそむしろ大歓迎です。まずはここから、始めてみましょう。

共 催　公益社団法人　宮城県放射線技師会　第33回総合学術大会
キヤノンメディカルシステムズ株式会社

02000136